

1. 策定の基本方針

総合計画に記載すること ⇒ 「未来会議WSや審議会での市民からの意見を受け、10年後あるべき市の姿、その実現のために取り組むべきこと」

① 市民共有の指針としての計画

・総合計画未来会議・総合計画審議会での「対話」を通じ、真の意味で行政・市民共有の指針としての計画とする。
計画内では行政の役割・市民の役割を明確にし、共にその計画を推進する。

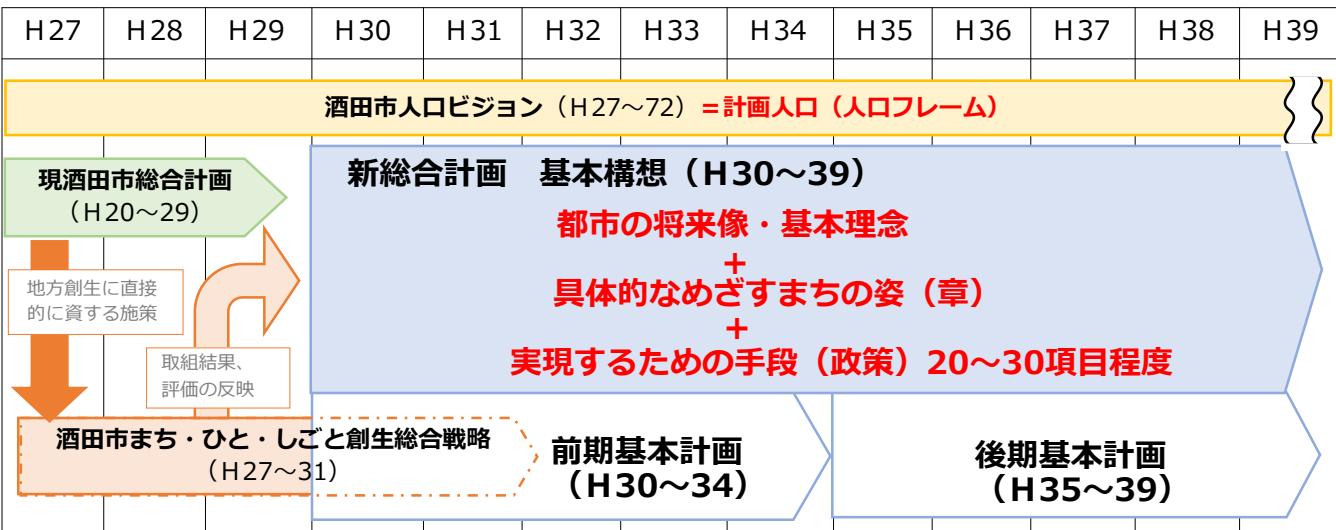
② 目的・手段を明確にした計画

・従来型の体系別（分野別）の計画ではなく、目的別に章立てし、その手段としての施策や事業を基本計画として策定する。網羅的・体系的な従来型の計画と比して、記載が薄くなる分野もありうる。

③ 酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略との一本化

・総合計画、総合戦略という2本柱のままでは重複感があることから、昨年度策定した総合戦略を取り込んだ計画とする。総合戦略含め、できる限り既存計画とのつながりを明確にする方針とする。

2. 総合計画の概要（基本構想）



§ 基本構想

都市の将来像（基本理念）

↓ 未来会議、審議会等で多く出されたキーワードを3~4つ程度にまとめて短文で表現

「湊」「港」「産業」「交流」
「広域連携」「仕事」

例) 酒田港を最大限に活かした産業交流都市酒田

「安全安心」「防災」「環境」
「住んでて良かった」「住みやすさ」
「地域交通」

例) 誰もが暮らしやすい「ちょうどいい」都市酒田

「人」「対話」「つながり」「変化」
「協働」「地域」「公益」「挑戦」
「市民参画」「コミュニティ」

例) 「対話」を重視し、市民参画にあふれた協働のまち酒田

「歴史・伝統・文化」「食」「自然」
「景観」「酒田だけの魅力」
「情報発信 (PR)」「酒田愛」

例) 歴史文化に育まれた地域資源をみんなが好きになって積極的に発信していくまち酒田

参考：人口ビジョン 目指すべき将来の方向性
① 転出せずに「住み続けたい」、転出しても「戻りたい」、住んだことがなくても「住んでみたい」と思える酒田にする、② 若い世代の結婚・出産子育ての希望をかなえる

上記を総括したコンセプト・キャッチコピー

(例) 『行ってみたい・働きたい・住み続けたい。誰にも愛されるまち酒田』
『市民力で未来を切り開く酒田』 『人材と風土が支える産業・交流都市酒田』

都市の将来像、コンセプトについては、今後、ビジョン検討委員会(仮)において検討していく。総合計画審議会委員から6名程度選出しつつ、職員PTも加える予定。

具体的な目指すまちの姿

「〇〇な酒田にしたい、ありたい。」という市民の想いをふまえたもの = 「章」

第1章. 未来を担う「人材」が豊富な酒田 (ひとづくり)

- 「協働」のまちづくりのための「市民参画」の推進【市政情報発信 (情報公開)、未来会議 (広聴の充実)】 行政運営
- 大学まちづくりによる人材育成【公益大と連携した人材育成、市、公益大、光陵高校の3者連携・高校連携】 行政運営
- 「協働」のまちづくりに向けたプロフェッショナルな人材づくり【地域共創コーディネーター等】
- 市民みんなの「酒田愛」を育む【ふるさと休日、ジオパーク、酒田っ子はぐくみ事業等】 教育・市民生活・観光
- 明日を担う子どもたちの生きる力を育む 教育
- 【「いのち」の教育、学力向上、家庭・学校・地域との連携、教育環境整備、開かれた学校づくり】
- 世代を超えてまなびあい、生涯スポーツで明るく健やかに生きる 教育・市民生活
- 【生涯学習、図書館、スポーツ、他都市との交流を通じた人材育成】
- 歴史にはぐくまれた芸術・文化を活かす【芸術文化、歴史・文化遺産】 教育・市民生活・観光

第2章. 域内経済が活性化し、“働きたい”がかなう酒田

～地域産業がうるおい、質の高い雇用が確保される酒田でありたい～
(数値目標例：新規雇用〇〇人、一人当たり市民所得〇円 等)

- 賑わいのある商業の振興と創業の推進 産業
- 【産業振興センター、商店街支援、コワーキングスペース】
- 付加価値の高い工業の振興 産業
- 【事業立地 (拡張) 形態に合わせたオーダーメイド型支援】
- “みなと”を活かした物流機能の強化 産業・都市基盤
- 【港湾・庄内空港】
- 雇用の安定と働きやすい環境づくり 産業
- 【ワークライフバランス、地元就職拡大 等】
- 夢があり、儲かる農業にする 産業
- 【担い手育成、六次産業化、輸出促進】
- 100年続く酒田の森林を作る【林業】 産業
- 豊かな酒田の海づくり【水産業】 産業

第3章. サポーターが多く

移住者・定住者・観光客が増加する酒田

～酒田の素晴らしさを内外に発信し交流を広げていきたい～
(数値目標例：移住者数〇〇人、観光客1人あたり消費額〇円 等)

- 総合的な移住・定住対策 交流・情報発信
- 【移住・定住対策、生涯活躍のまち構想 等】
- 効果的なシティプロモーションと交流の拡大 交流・情報発信
- 【情報発信強化、ふるさと納税、北前船交流、オリパラホストタウンの取組み、他都市との経済的交流 等】
- 酒田らしい観光の充実と何度も来たくなるおもてなしの推進 観光
- 【中長期観光戦略ベース、クルーズ船、市民会議】
- “みなと”を活かした交流の促進 産業・交流
- 【酒田港、庄内空港、光の湊による駅前開発 (中活)】

第4章. 一人一人のライフスタイルが尊重される酒田

～誰もが充実した生活を送れる酒田でありたい～

- (数値目標：合計特殊出生率〇〇、婚姻率〇〇 等)
- 結婚・妊娠・出産から子育てまでのライフステージに応じた支援 健康福祉
- 【婚活支援・子育て支援・ネウボラ・発達支援】
- 誰もが活躍できるまちづくり 市民生活
- 【男女共同参画、女性活躍・在住外国人支援】
- 誰もが住みよい福祉のまちづくり 健康福祉
- 【高齢福祉、障がい福祉、保健師活動機能強化】

4章～5章は密接に関連。特に議論が必要な部分。

第5章. 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田

～安全・安心にあふれた豊かな暮らしをしたい。みんなが助け合い、支えあう地域でありたい。～
(数値目標例：住民意識調査で「住みよい」と回答した者の割合 等)

- それぞれの力を最大限に引き出した地域運営 地域
- 【自治会、ゴミ振、市民活動支援、小さな拠点】
- 「全員参加」による美しい景観と環境づくり 市民生活
- 【ごみ、環境、景観、公園緑地】
- 地域と連携した安全なまちづくり 防災・市民生活
- 【防災、耐震化、空き家、交通安全、市民相談】
- 健康長寿でいつまでも活躍できるまちづくり 健康福祉
- 【健康寿命、地域包括ケア、地域医療】
- 持続可能な地域公共交通 地域・市民生活
- 【地域公共交通】

第6章. 都市機能が強化され、賑わいがあるまち酒田

～まちに賑わいを取り戻し、持続可能なまちをつくりたい～

- 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり 都市基盤
- 【立地適正化計画 地域公共交通 (再掲) 等】
- 中心市街地の活性化 都市基盤
- 【中心市街地活性化計画の推進 等】
- 交流の基盤となるインフラ整備への機運醸成 都市基盤
- 【鉄道高速化、高速道路】
- 持続可能な生活インフラの構築 都市基盤
- (社会資本マネジメントの推進)
- 【更新すべきインフラの選別、再配置 (ダウンサイジング) 長寿命化、広域連携・官民連携の検討】

最終章. これらを達成するための行財政運営

- 市民の満足度を高める効率的・効果的な行財政運営と質の高い窓口対応 行政運営
- 【アセットマネジメント、行財政改革推進、各種窓口業務、定住自立圏、業務改善、広域行政、財政フレーム】

今後、審議会や市役所内部での議論を経ながら、柱立て等を検討していく。

3. 基本計画のイメージ（サンプル）

V. 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田

それぞれの力を最大限に引き出した地域運営

実現するための手段（政策）毎にワンペーパー（A3を想定）を作成

現状と課題

- 酒田市は概ね小学校区単位を基本に、市内全域に36のコミュニティ振興会が組織されている。市街地から中山間地域、県内唯一の離島飛島など幅広い地域特性があり、地域毎に課題や強みが異なる。
- 防災訓練、除雪、介護予防、生活支援等、地域における課題は、急激な人口減少・少子高齢化により複雑化・多様化している。また、地域活動の担い手の高齢化も進んでいる。
- 自治会に加入しない世帯が増加傾向にある。
- 本市などに登録する市民活動団体は261団体、そのうちNPO法人は44団体。

事業をただまとめるのではなく、
どういう切り口・方針で取組んで
いくかを明確にする。

今後の方向性

- それぞれの地域で**住民と行政が課題を共有し解決に向け取組む**ことができるよう、地域おこし協力隊等**外部人材を積極的に活用**しながら、NPO法人等、**新たな実働組織を立ち上げるなどし、持続可能なコミュニティビジネスの展開**につなげていく。
- また、**地域運営において主役となる人材を育成**するため、東北公益文科大学とも連携しながら、地域コーディネーターの育成を図りつつ、NPO法人等への立ち上げ・存続支援等も行っていく。

政策推進のための主な施策

- コミュニティ振興会への支援
- 市民活動の充実（公益活動支援）
- 地域コーディネーターの育成
- 地域おこし協力隊の活用
- 中山間地域における「小さな拠点」の形成
- 自治会への加入促進
-

成果指標

.....

市民の役割

- 積極的なコミ振活動への参加

.....

関連する個別計画一覧

- 酒田市公益活動推進のための基本方針（H22策定、無期限）
- 酒田市過疎地域自立促進計画（H28～32）

.....

分野横断的なプロジェクトの見せ方については今後検討（例：女性活躍）

4. 評価について

具体的な目指すまちの姿（章）

数値目標

（例）域内経済が活性化し、“働きたい”がかなう酒田
・新規雇用600人、一人当たり市民所得等

数値目標

（例）高付加価値を生み出す産業の振興
・製造業製品付加価値額、出荷額等

実現するための手段（政策）

より具体的な手段（施策）

事務事業

事務事業評価が連動

設定の際は、来年度の未来会議ワークショップでも取扱う方向で検討。

【評価方法】（今後要検討）

- ・目的・手段を可視化するため、施策の体系図を作成。
- ・章（具体的な目指すまちの姿）、施策（目指すまちをつくるための手段）毎に、可能な限りアウトカムベースの数値目標（成果指標）を設定。
- ・毎年度、数値目標の達成状況を公表する。外部評価は隔年実施とし、ポイント、テーマを絞って行う。

【外部評価体制】

- ・審議会ではなく、専門家等による5名程度によるものとする。

新酒田市総合計画の策定について

5. 策定スケジュール

年	月	総合計画審議会	内容	議会	総合計画未来会議	内容	庁内会議	その他	
28年度	4月								
	5月								
	6月	6月17日(金) 13:30 ~15:30	全体会	・ 諮問 ・ 市民ワークショップに関する講演	状況報告	6月18日(土) 13:30 ~17:00	第1回 ・ 未来の酒田市がまわりからうらやましがられてるとしたら、どのようなまちや暮らしになっているでしょうか。		
	7月	7月21日(木) 13:30 ~15:30	全体会	・ 未来会議報告 ・ 10年後を見据えて重要と考える視点		7月31日(日) 9:00 ~12:00	第2回 ・ 酒田の「あんべわりの～」 「いいの～」	総合計画策定 職員プロジェクトチーム 随時開催	市民大学
	8月					8月28日(日) 9:00 ~12:00	第3回 ・ まちづくりシミュレーションゲーム「SIM2030」		
	9月				状況報告				
	10月					10月8日(土) 13:30 ~17:00	第4回 ・ 酒田の〇〇の「いいの」「あんべわりの」をどうしたいですか		
	11月	11月24日(木) ~ 12月5日(月)	各部会	・ 未来会議報告 ・ 現状と課題について		11月19日(土) 13:30 ~17:00	第5回 ・ 酒田の未来新聞をつくろう		
	12月								
	1月	1月		・ 審議会委員インタビュー					
	2月	2月22日(水)、 24日(金)	各部会	・ 基本構想の構成について ・ インタビュー結果について	状況報告			策定本部会議(体系) (3月定例会)	
	3月	3月中旬	ビジョン検討 委員会(仮)	・ 基本構想(理念、キャッチフレーズ)		3月25日(土)	番外編 ・ 28年度のふりかえり	策定本部会議(基本構想)	
29年度	4月						策定本部会議(基本構想)		
	5月	5月下旬	全体会	・ 基本構想(案)について		5月下旬	第6回 ・ 進め方、施策の組み立て ・ 基本構想について	策定課長会議(随時)	
	6月				状況報告	6月下旬	第7回 ・ こんな施策を	(6月定例会)	
	7月					7月下旬	第8回 ・ 市民の役割	策定本部会議 (基本計画)	
	8月	8月下旬	全体会	基本計画(素案) 未来会議報告		8月下旬	第9回 ・ 数値目標を考えてみよう	策定本部会議(基本計画)	
	9月				勉強会			(9月定例会)	
	10月		部会	基本計画(素案)					
	11月								市議会議員選挙
	12月				勉強会	12月下旬	第10回 全体会 ・ ふりかえり、リアルパブコメ	(12月定例会)	パブコメ
	1月							策定本部会議(最終)	
	2月	2月上旬	全体会	総合計画(案)⇒確定	全員協議会				
	3月				議決	3月24日	シンポジウム ・ 市民及び全国への発信	(3月定例会)	